

こども専門部会29年度報告

部会名(子ども部会)

経過	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 1 回集まりを実施。その内行政との懇談会（医療的ケア児の現状について）を 1 回実施。 ・毎月の集まり以外で 5 回ほど児童館にて人形劇を実施。 ・学習会開催。テーマは「子どもにやさしい街づくり」で講師に早稲田大学教授の喜多氏を招く。 ・事例検討会（発達障害児を持つ母親について）を 1 回実施。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と懇談会で「医療的ケアの必要な子ども」をテーマに情報共有ができた。 ・地域との連携と合理的配慮をテーマに児童館へ出向いていき人形劇を披露することができた。(八雲児童館・五本木児童館・東山児童館・原町児童館・緑ヶ丘児童館) ・事例検討会にて今年度のテーマとして「家族支援」が必要な困難ケースを取り上げ、発達障害児の支援不足や虐待時の対応方法などの認識の共有ができた。 ・防災について意見を出し合い既存の「防災行動マニュアル」と防災マップ、子ども部会委員所属事業所ごとの「災害時対応シート」を一つにした冊子を作製する。 ・学習会では、「目黒区こども条例」について改めて見直しと情報共有ができ。また子育てではなく「子育て」という視点から家族や支援者の関わりについて考え、学びを得る事ができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き医療的ケア児の子どもとその家族の支援の充実が必要である。 ・発達障害や不登校児、本人が相談機関に行くのを拒むケース等でアウトリーチができる事業所が民間事業所 1 か所のみ。児童発達支援センターの充実を希望する。また今後設置予定の発達障害支援拠点施設との連携も重要になる。 ・子ども家庭支援センターとの連携の強化
本会での報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も継続して行政との懇談会を行いたい。テーマは引き続き医療的ケア児の問題について。 ・平成 27 年に実施した「医療ケアのある子どもとその家族の実態調査」を来年度に実施したい。子ども部会で実施するか、もしくは可能であればあれば今後設置予定の医療的ケアに関する検討会で行ってもらえるか。 ・今年度は学習会により改めて「目黒区こども条例」について見直し、周知の必要性を感じた。次年度の「地域との連携」では目黒区が製作発行した「すごいよねずみくん」の絵本や動画を活用し、保育園や小学校、子ども関係施設等に出向いて行き読み聞かせ会が行う事ができるか検討したい。
その他	

